

教育だより

国東市教育委員会

「ステップアップ事業」

「土曜スクール」

「学びの教室」

「学校支援事業」

がんばっています

本年度、大分県では、学力向上対策として夏休みに小学校4・5年生を対象とした「ステップアップ事業」を行いました。国東市も全小学校が参加し、地域の方々や教員OBのご理解・ご協力のもと夏休み中の5日間実施しました。暑い教室の中でしたが、子どもたちの熱心に学習する姿と指導者の丁寧な教え方が印象的でした。

また、武蔵町では学校支援地域本部事業を実施し、武蔵西小の児童を対象に「土曜スクール」を行っています。武蔵西地区公民館で毎週土曜日に地域の方々や教員OBがボランティアで指導をしてもらっています。

さらに、本年度から国東町の7小学校（来浦小・富来小・大恩小・豊崎小・国東小・小原小・旭日小）では放課後を活用した「学びの教室」を実施しています。この事業は、地域で放課後や週末等に子どもたち

が安心して勉強や活動ができるように支援する取り組みです。それぞれの学校には、学習サポーターや安全管理者を配置し、子どもたちのニーズにあった学習や活動を進めています。学習や活動の場所は学校内の図書室や公民館、教育施設等を利用しています。子どもたちは、宿題をしたり予習・復習をしたり、自分で計画を立て学習しています。また、地域の方や学年・学級をこえた子ども同士のかかわりを通じて学び合う楽しさや社会のルールの大切さを学んでいます。



△国東小「学びの教室」の様子

小学校の統合問題に関して

先の市議会で小学校統合問題について質問がありました。教育委員会は、学校教育審議会の答申を受けて、平成21年3月「学校・園教育環境整備計画」を策定し、具体的な方策を発表しました。その内容は、以下のとおりです。

- ① 全校児童数30名程度の学校は、積極的に統合を図る。
- ② 全校児童数50名を割り込む小学校並びに今後10年間で児童数が30名程度になる小学校は統合を検討する。

また、「複式学級のない1学年1学級の学校規模が望ましい」という基本姿勢にたつて、豊崎小学校（児童数23名）と国東小学校（児童数264名）との統合、来浦小学校（児童数30名）大恩小学校（児童数18名）と富来小学校（児童数108名）との統合を計画し、平成21年度から関係する小学校の保護者、地域の方々への説明会を行ってきました。

当初の予定は、平成23年度統合でしたが、地元の合意を深める意味から1年先延ばしして、現在平成24年度統合に向けてその準備・対策に取り組んでいるところで

市内の各小学校の児童数は減少する傾向にあります。今後、統合問題について検討を必要とする学校も出てくるのが予想されますが、子どもたちのよりよい教育環境づくりのために取り組んでいきたいと考えています。

